

【ポスター発表】

福祉教育におけるインペアメント文化の位置づけ —大学における文化的コンピテンスの養成に着目して—

○ 関西学院大学大学院 宮崎 康支 (009599)

松岡 克尚 (関西学院大学・001808)、原 順子 (四天王寺大学・001134)

キーワード：インペアメント文化、福祉教育、文化的コンピテンス (cultural competence)

1. 研究目的

本研究の目的は、障害者の身体が持つインペアメントの文化的側面に着目し、その理解を大学における福祉教育に活用するための教育方法的な課題を明らかにすることである。

2. 研究の視点および方法

松岡(2018)は、障害者が自身の身体的特徴と現実社会のかかわりにおいて見出した生存戦略を持つと考え、これを「インペアメント文化」と称した。発表者はこの概念を、人間の欠損に障害者が直面する困難の責任を帰する個人モデル (Barnes *et al*, 1999=杉野ほか訳, 2004) および、その責任を社会構造に帰する社会モデル (Ibid.) の二項対立とは一線を画した交互作用モデルの一種として捉えている。本研究はこれを踏まえ、先行研究レビューを行い、かつ理論的な検討によってインペアメント文化への理解を大学における福祉教育に活用する方向性を探ろうとするものである。

現代の日本では否応なく多文化化・多言語化が進行し、多様性の尊重が叫ばれている。発表者はこの状況下における人材養成機関としての大学の役割のひとつは、学生の異文化接触経験を促進することと考える。具体的には、学生が社会において柔軟に折衝する能力としての文化的コンピテンス (cultural competence) を養成することが重要ではないだろうか。インペアメントを文化の表れとして捉え、異文化として「障害」に接触する経験も、学生にとって在学中に機会を持つことが推察されよう。『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』と政府方針において障害学生への合理的配慮の義務ないし努力義務が大学に課せられ、また障害学生の在籍数が増加している (日本学生支援機構, 2019) ためである。

これを踏まえると、大学教職員たちにはいかなる教育実践が考えられるだろうか。例えば、学生が障害学生支援にノートテイクなどとして関わることで、彼ら・彼女らは聴覚障害のインペアメント文化の一端を間接的にせよ経験することになる。また、カリキュラムおよび教授手法の工夫により、いわば「課外活動」としての障害学生支援を「正課活動」としての職業準備教育ないし教養教育に有機的に結び付けることができると考えられる。

以上の問題意識に基づき、福祉教育を中心とした文献研究を実施した。それによって、現状分析と課題に加えて、特に障害理解について上記の問題意識に沿う論点を抽出した。

3. 倫理的配慮

この研究は「日本社会福祉学会 研究倫理規程」を遵守し、文献の引用について自説と他説を峻別し、著作権などに適切に配慮した。また、本研究は科研費 16K004224(研究代表者：松岡克尚)の助成を受けている。

4. 研究結果

2019年5月3日に、学術論文データベースの J-STAGE および CiNii において、題目に「福祉教育」と「障害」の2語の両方ないし、「福祉教育」と「障がい」の2語の両方が含まれる論文・記事を検索した。その結果は下表の通りである。

	J-STAGE	CiNii
「福祉教育」AND「障害」	15	87
「福祉教育」AND「障がい」	1	8

(単位：件)

これらから、今回の研究テーマに沿わない内容のものを除き、研究テーマに該当するものを分析対象とした。分析対象の文献においては、特定の障害種別の理解を体験的に促進させる教育実践に関する論考が散見されたが、あくまでも医学的な理解に留まっていた。

5. 考察

原田(1998)は当時の福祉教育の動向について、「学習化」、「体系化」、そして「地域化」の変化を論じた。発表者は、この論文の問題提起を現在の大学教育に照らし、特に教室内学習と教室外学習、課外活動、そして社会経験の接続が問題になっていると考える。

したがって、全体的なアプローチにより学生たちの文化的コンピテンスを高めるための方法を構築することが急務であろう。それには、学生生活の経験を一種の生態系として考え、インペアメント文化をも普遍的な文化のひとつとして捉える必要があるといえる。

【引用文献】

Barnes, C., Mercer, G. & Shakespeare, T. (1999) *Exploring disability: A sociological introduction*. Cambridge: Polity Press (=杉野昭博・松波めぐみ・山下幸子(訳)『ディスアビリティ・スタディーズ—イギリス障害学概論』(2004) 明石書店).

原田正樹(1998)『『福祉教育』研究の動向と課題に関する考察』『日本福祉教育・ボランティア学習研究年報』1: 74-99.

松岡克尚 (2018)「インペアメント文化のとらえ方とその可視化：障害文化、障害者文化との比較を通して」*Human Welfare* 10(1): 79-91.

日本学生支援機構 (2019)『平成30年度(2018年度)大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書』.